

平成 22 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	備考
4	道路整備交付金事業 主要地方道 相知山内線 (武内町工区) 事業主体：県 事業地：武雄市武内町 真手野	本路線は唐津市相知町の国道 203 号を起点として武雄市山内町の嬉野山内線に至る延長約 20.8 km の主要道路である。計画区間は武内小学校及び武雄北中学校の通学路に指定されている。近隣には製鋼工場や運輸会社があり大型車の通行が多い。 しかしながら現況は、線形不良箇所があり、歩道未設置区間があり、危険な状況となっている。 以上のことから、線形改良及び自転車歩行者道の整備により、交通の円滑化と交通安全の確保を図る。	全体事業費：6.3 億円 工期：H13~H27 事業内容 延長 L=940m 幅員 W=12.0(6.5)m 改良工 L=940m 橋梁工 1橋 舗装工 L=940m 測定 1式 用地補償 1式	H21 末進捗率：約 38% (事業費ベース) (年平均進捗率 4%) ○用地補償は 9 割完了	・交通量の推移 H9 3,355台/日 (基準) H11 3,603台/日 (1.07) H17 3,605台/日 (1.07) 本路線が接続している国道 498 号の、大坪バイパス (伊万里市) が平成 23 年度に開通予定であり、また若木バイパス (武雄市) が事業中であることから、交通量の増加が予想される。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 1.0	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を近隣工事の盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	着手より 10 年経過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要性に変化が無い。 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	

